

JA松任青年部

YOUTH SITE



「グリーンセミナー2017開催」

「ミニトマトクラブ」

「農業理解促進部」

5月13日（土）、旧松任管内の放課後児童クラブ14ヶ所の子ども達を対象に、グリーンセミナーを開催しました。

例年ですと青年部員が各クラブを訪問して子ども達とミニトマトの苗の定植を行っています。当日は小雨が降っており作業ができるか怪しい天気だったため、定植作業は中止とし部員らで鉢植えしたミニトマト75鉢とはつか大根の種を蒔いた長方形プランター14台を用意し各クラブへ届けました。



鉢を届けた先のクラブでは、定植を楽しみにしていた子ども達から「植えることができなくて残念。でも届けてくれてありがとう」との声があがりました。定植作業は中止となりましたが、それを育て生育観察して収穫する一連の流れがグリーンセミナーとなっております。児童クラブの子ども達が直接育てた目に見えるトマトを食べることで、食育の大切さを感じてくれたらと思います。

「枝豆・サツマイモ定植」

「宮保地区青年部」



宮保青年部では5月9日（火）に畝作り、5月14日（日）に落花生定植、宮保公民館子供会と毎年恒例となっているサツマイモの定植を行いました。

今年の畝作りは、仕事終わりに盟友が集合し自分たちで行いました。実際に鍬を使って畝作りをしてみると真直ぐにならず、作業の難しさを実感しました。

5月に入り晴天が続いていたのですが、サツマイモ定植前夜から雨が降りだし、定植延期かと思われたのですが、みんなの願いが通じたのか天候も回復し、無事にサツマイモの定植を行うことができました。毎年恒例となっているため、子供たちと楽しくワイワイと定植を行いました。

今年は盟友の発案により落花生の栽培に初チャレンジしました。

秋のサツマイモと落花生の両方の収穫が今から大変楽しみです。豊作を期待しながら収穫時期を待ちたいと思います。



【子ども会とサツマイモの定植】

（笠間地区青年部）

5月14日（日）、笠間青年部と子ども会とでサツマイモの定植を行いました。今年はマルチの上からの定植だった為か子ども達は苗を植えるのに悪戦苦闘していました。が、一生懸命に取り組んでいました。

収穫は9月を予定しており、子どもたちはすでに収穫をすることを楽しみにしているようでした。



【苗出しから苗箱洗い】

（旭地区青年部）



4月2日、6日、10日、14日、18日に旭地区青年部は、（有）あさひの苗だし作業に参加しました。職員や盟友とで、毎朝5時30分から苗箱約1万箱を並べました。また、5月20日、27日、6月3日に苗箱洗いを盟友と行いました。

今年は何年にもなく苗箱洗いの機械が何度も故障してしまい、その都度直しながらの作業となりとても大変でした。

初日には無数の苗箱を洗わなければという気持ちでしたが、最終日が近づくにつれ終わりが見えてくると皆、気合が入り作業のペースも上がり、完了すると達成感に満ち溢れました。

毎年恒例の作業となりますが、とても貴重な農業体験をさせて頂き、盟友一同、（有）あさひの皆様へ感謝しています。



【食と緑の郷づくり】子供たちの農業体験】

（山島地区青年部）

5月14日（日）、清々しい晴天のもと、山島公民館とのタイアップ事業の『食と緑の郷づくり』を開催しました。

当日は、山島地区中の子どもが集合したのでは!?と思うほど大盛況な会となりました。



今年も四和もちの田植え、サツマイモの定植、ミニトマトのmy鉢への移植を体験してもらいました。田植えでは保護者の方にも参加していただいたのですが、土の感触と水の気持ち良さに、みんな笑顔満開でした。続いて行ったサツマイモの定植やミニトマトの移植も、親と子、青年部と子どもたちが一緒になって取り組みました。また、青年部で行った田植え用の枠回しや、機械植え、手での押し植えも非常に有意義な経験でした。手順や機械の操作を仲間や先輩方に教わって、地域の子供たちのために頑張る姿は本当に頼もしく見えました。

子どもたちの中には、複数年参加してくれている子もいたのですが、昨年の会の写真と見比べて、その成長ぶりに驚かされました。秋にはお米や野菜と同様に、更に成長した子どもたちと一緒に収穫の日を迎えられるよう、青年部でしっかりと育てて行きます!!

